

No. 3 は な ゆりこ

♩ = 80~92

あ い は な    ころ い は な    み ー ん な    き れ い よ

間があつても室内遊びにあきた幼

No. 4 汽 車 こ っ こ よ し あ き

*Alllegro*

だ、だ、ち、ち、だ、だ、ち、ち    ぼ、ぼ、    ぼ、    汽 車 こ こ    し ょ う

た、い、こ    トライ    た、い、こ    トライ    タ、ン、ク、ル    だ、い、こ    トライ    カ、ス、テ、ト

汽 車 こ こ    し ょ う    カ、ス、テ、ト    シ、バ、ル

見たちは外に流れ出す。長靴をばくばくならしながら砂場とびまわっていた幼児の言葉。

すきに汽車になって歩いたり、スキップしたりする。

楽器で時々合奏するのも面白い。

(群馬大学附属幼稚園)

子供とともに

後藤鈴枝

昭和三十年四月、創立五十二年の輝く伝統を持って知られた静岡精華学園の一隅に建坪六十一坪(十四坪保育室2、便所(男女別)職員室、小使室)の明るい近代的なガラス張りの園舎を持って開園、(三十二年三月には遊戯室、保育室五六坪増築)附近は静かな住宅地で表通りに出れば一通りの商店が軒を並べ、自動車、電車の停留所まで五分、少し足をのばせば県庁、市役所、警察署、公会堂、郵便局、松坂屋等の文化施設にも接する事が出来、お散歩と称

する園外保育は心よい濠端を巡り、駿附公園で楽しい一時を過す事も出来、簡単に電車、自動車を利用して虫取り、ドングリ拾いも出来ると云った具合で先ず外的環境には恵まれていると云えましょう。

園児の家庭情況は商業43パーセント(戦後他から転入して来たものが多く、子供の事を心配しながら忙しさに追われ手をかけていられない母親が多い)会社員28パーセント、公務員13パーセント、教員5パーセント、その他の順で生活には困らないが幼稚園まかせと云った有様、日当りの悪い家におくより早く幼稚園へと云うので朝も八時前から登園する。

年長組(三十七名) 年少組(三十八名)

男児 十九名

男児 二十二名

女児 十八名

女児 十六名

幸な事に両親は皆健在、大まかに見た子供達の表われは、無邪気で悪気はないが、動作が乱暴で言葉が悪い。

職員組織は職員三名、養護一名、小使一名の至極家庭的な雰囲気で、入園児を迎えるに当りましては一同希望に胸をおどらせ

ながら、先ず家庭調査、園児の入園前の経験調査を参考に、拙ないながらも私達の経験を之に加え「健康でのびのび活動出来る子供」の姿を念願しつつ一応目やすとする為のカリキュラムを作成する事が出来た。そして云うまでもなく楽しい生活が始まり四、五、六年と子供達も順調な発達を示し喜んで登園していた。

#### 問題の起り

無事に毎日を過してはいたが何となくしっくりしない、子供達がまだ幼稚園を自分のものとして充分活動していないではないか、職員がまだ一人一人の子供を掴んでいないではないか。之が毎日の話題にのぼり、このぎこちなさを解く為にはどうしたらよいかと云う事について話し合った、そしてその為には、

○二組のこの園全体が仲よしでなければならぬ。

○協力しながら夢中で遊べる環境にしようではないかと云う所から次の方法を取って見る事にした。

#### 問題解決法

実施は九月から、カリキュラムの中で合同でなす誕生会、園外保育、運動会等の外になお年長組、年少組の交流及び全職員に接する場と時間を成るべく多く取り入れることにした。そして火曜、土曜日の朝の自由遊びの後の一時間を自由に交流出来る時間に当てる事にした。之については

○年令の差に充分考慮をほらう

○保育内容が片寄らぬ様注意し職員は二組をそれぞれ交代で受持つ事にした

○天気の良い日にはつとめて合同で競走遊戯やごっこ遊びを取り入れる様にした

○その内容や活動の都合で楽しくお弁当を共にする事もあった

○朝の自由遊び、午後の自由遊びは三人でそれぞれ観察に当り、その他は各自で目についた事、気のついた事を片端から書き止め記録にとめた、こんな具合で子供の中にとび込み共に過した経験を顧み、遊びを通して感じたままを書く事にした。

実施。戸外遊びから

子供と取り組んで見て、初めて分ったことの多いのに先ず驚く、ほんの一例に過ぎ

ないが砂場遊びを取り上げると、砂場道具として一通り揃えて置いた、シャベル、フルイ、くり物の砂形、ままごと道具があるにもかかわらず一枚の板切を引っ張り合っている所から気付き子供達の身近かにある物で気軽に使いこなせるものと思い、木切、空かん、板切、竹筒を用意した。子供達は大喜び、それに御飲杓子の一番小さなのから長さ六十種の物三、四種類、之がポートのオールにもなれば野球のバットにもなると云う有様、くり物屋から、もらって来た直径五糧長さ二十糧の円筒もなくてはならない砂場道具の一つ、次第に大がかりの遊びがはじめられ素晴らしい発展振りを見せる。先生明日迄このままにして置いて、と真剣なたのみが出たのが九月十七日。砂場には何時も子供は居たが、出入りの多かつた今までに比べると、少しも動きがなくなつた。何時も満員で時にはそのまわり一面に延長される。この頃から年長年少の数は半々の割合。

○十月に入り年長児が七匹の小山羊の紙芝居からヒントを得て狼ごっこ(鬼ごっこ)と

同じ)が始まり自然に年少児も仲間に入り、グループの数も多く、身振りや歌も遊びの中に取り入れられる様になった。続いてお姫さんごっこ、おさるごっこと面白い名前遊びが生まれ、ほとんどの子供が参加し汗をにじませながら、かくれたり、どびまわつたりの活動振り、帰りには「又明日やろうね」と云う楽しい約束が交される様になった。又この頃砂場の大杓子のバットで野球がはじまる。最初は先生のピッチャーで子供達はバットで球を打つ事のみに興味を持っていたが次第にホームラン、一点と本式になる。屋根の上にもボールがとべば一流選手にでもなった様な自慢顔に思わずフキ出す事も度々、子供用のバットを新調する頃はピッチャーキッカー、アンパンヤに到るまで子供達どうして上手に進行、この野球チームに参加している年少児は大きな喜びと誇を感じているらしい。この野球は今もって永続されバットを握る豆選手は自信満々。

#### 室内での表われ

○どちらに行こうかと迷っている子

○受持の先生の後を追って定める子  
○友達にさそわれて行動する子。

この様な姿は九月一杯見られ年少組に多かった、が十月中頃には自分の意志で行動する事が出来る様になった、交友関係も目立って発達し、大きなグループで協力して仕事を進める様になった。十二月クリスマスを兼ねての音楽会も、二組合同の器楽合奏、年長のジングルベル合奏に合せて年少が踊ったり参加しているお母様の合唱に合せて子供が自由で踊ったりする事も極く自然に和やかに行われ、父兄の一人をサンタクロースに仕立て(子供にはないし)静かな曲で清らかなXマスの雰囲気を出し眠っている子供の一人一人に可愛いキーキのプレゼントをして廻る情景、子供達の驚きと喜びの表情が今も目に浮ぶ。こうした状態でごっこ熱はグン／＼高まり一月に入つてからのサーカスごっこ等、さか立ち、玉乗り、道化者、動物の芸等の模倣から入り、三角帽子、お面、切符、財布、手さげと次々に製作への興味も深まり、キャラメル、アンパン、アイスクリームの立売(積

木、空箱利用)ではお金の勘定、売買の態度も中々堂に入ったものだった。こうして盛り上ったごっこ遊びも互の行事に追われ、二学期程に長続きもせず、二月末には全体が落着いた感。その落着の中に見られる情のこもった親しい表われには云い難い嬉しさが感じられる。

### 記録の整理

記録の整理も中々むつかしく、纏めるのに一苦労だったが兎に角此所へは、私達の夢中である、「みんな仲く。互に協力し合う点を反省しながら拾い上げる事にした。

○思いやりのある態度

○みんなと仲よく遊びを続ける

○自分で考え目的を持って行動する

○お友達と話し合い、協力して遊ぶ

この様な好ましい表われの方が実に多いので私達の努力も決して無駄でなかった様に思う。

### 記録を見つめて

○子供を愛し子供と共に過すこと

○その場その場に於て、個々に即した指導が大切

○園全体の子供に親しみと愛情を感じる様になった

○みんな可愛く見え、いじ悪の子がなくなった

○ともすれば落こぼれ勝な子供も、認められる場が支えられるのでみんな幸であった。

以上のべました様に私達が思いついて実行出来たのも園の環境が丁度それになっていた事で何と云っても幸せでありました。そして職員が一体となってこの仕事に当った事、年長児、年少児共実によく揃った無邪気な子供達であった事です。昭和三十一年度は、遊戯室、保育室の増設にもない環境もちがって来ると思いますが職員一同子供への努力を誓ってベンをおく。

(静岡精華幼稚園)

### 色とあそぶ(その2)

植田有子

「幼児と色彩生活」……これから成長する子供達の生活芸術化、豊かな将来への一助にもなりたいたい、此の大きな問題にとりくみ始めたのが、一昨年のこと！ まずその環境からと窓をセロファンでスタンドグラス風にしたり、砂をボスターカラーで着色したり、どんぐりを染めたり、あらゆる機会に色に親しむように努力してきました。そして得たことは、幼児に対する？の連続に他ならないのです。問題をもちかけて、何かデータをとったら、すぐ効果があらわれると思う私の一人よがりをつくづくと思いはされました。子供達はスタンドグラスでも作った時は、鋭敏に感応を示し、そ